

お知らせ

ラプラプセブ国際大学の開学および広島文教大学生への留学案内開始について

学校法人武田学園（所在地：広島県広島市安佐北区可部東1丁目、理事長：武田義輝）が中心となり、フィリピン・セブに「ラプラプセブ国際大学」を開学しました。また、海外姉妹校である広島文教大学の在学学生へ、留学案内を開始することとしました。

「ラプラプセブ国際大学/Lapulapu-Cebu International College（以下 LCIC）」はフィリピン政府の認証を受けた大学として、2021年9月20日に開学しました。新入生87人を迎え、コロナ対策のためオンラインでの授業スタートとなりました。

現在、フィリピンでは渡航者に対して入国制限措置をとっていますが、今後、状況により、フィリピン政府が留学生の受入れを再開することも想定されるため、広島文教大学では在学学生に対して留学案内を開始することとしました。

LCIC への他大学からの留学は2022年7月からですが、先行して、海外姉妹校である広島文教大学の在学学生へ案内します。留学日程は短期（4週間）・中期（18週間）ともに2022年3月7日から、定員は50名を予定しています。費用は、広島文教大学生については、修学支援制度を適用し、授業料・寮費・食費・水道光熱費込みで短期は68,000円（中期は306,000円）です。なお、別途、ビザ取得等に係る諸経費20,000円、自宅から現地までの交通費や教科書代が必要です。

LCIC では、レベル別のクラスで英語を学ぶことができるほか、体育科目としてセブのきれいな海でスキューバダイビングの免許を取得することもできます。寮はシェアハウス型で、共同生活を送りながら異文化交流を体験できるメリットもあります。

なお、広島文教大学内には、外国人教員が常駐し、いつでも英会話や異文化交流ができる英語学修専用施設「Bunkyo English Communication Center (BECC)」があり、留学前後の英語学修環境も充実しています。

コロナの感染状況などの諸般の事情によって変更・中止となる場合もありますが、広島文教大学では、できるだけ多くの学生に、国際社会をたくましく生き抜くための異文化理解力や語学力を身に付けられる、生きた学修の機会を提供したいと考えています。

■ラプラプセブ国際大学/Lapulapu-Cebu International College (LCIC) 概要



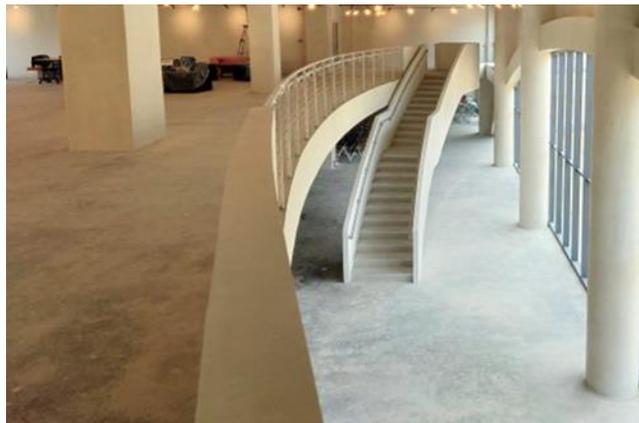
ラプラプセブ国際大学 Lapulapu-Cebu International College (LCIC)

設置形態：株式会社立	開学時期：2021年9月20日
敷地面積：64,803 m ²	学生収容定員：1,600人（入学定員400人）
校舎面積：17,250 m ² 、寮10,500 m ² （予定）	大学留学生定員：492人
設置学部：外国語学部、ツーリズムマネジメント学部、理学療法士学部	
学長：Grace R. Gorospe-Jamon (Doctor of Philosophy in Political Science)	

■キャンパス（敷地内は工事進行中で、学生寮などは2月中に完成予定です。）



語学棟



語学棟 1F フロア



語学教室



Self-Access Learning Center (SALC)

■完成イメージ



【本件に関するお問い合わせ先】

学校法人武田学園 学園統括部 入試広報課 担当：西岡

〒731-0295 広島市安佐北区可部東 1-2-1

TEL : 082-814-9996 FAX : 082-814-3401 E-mail : koho@h-bunkyo.ac.jp